



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和4年4月7日

4月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

あい

校長 さんべい 三瓶 あつし 淳

「社長、おはようございます！」

いきなりですが、6日は新6年生が、新入学児童のために教室の清掃・飾り付け、入学式の会場となる体育館準備などをしに登校して来ました。そして私が、体育館で新6年生を待っていた時にかげられた言葉でした。靴箱や個人ロッカーの中を一つ一つ雑巾でふいている子、階段を一段一段丁寧にふいている子たちなどの様子を見ると、12日ぶりの対面でしたが「しろさとっ子」の優しさや素直さは、しっかりと引き継がれている、そして新6年生もそれを自覚していると感じられた時間でした。

さて、本日97名の新入生を迎え、令和4年度が始まりました。子どもたちも新しい友達との出会いや担任との出会いに不安と希望が交錯していると思います。それは、教師側としても同じで、子どもたち一人ひとりがもつよさを引き出し、それを伸ばしていくにはどうしたらよいか、学級開きから模索が始まります。特に、4月から5月にかけては、学級づくりに一番大事な時期と捉えています。そこで、今年度は4月に学級懇談会が出来ない分（コロナ禍を鑑みて）、「子ども面談」を4月に（担任と児童の面談：1年生は5月）、地域訪問や個人面談を5月中旬までに行い、担任と子どもたち、保護者の皆様と顔の見える関係づくりを進めていきたいと思っています。

また、今年度は「**あい**」をキーワードにして、学校づくりをしたいと思っています。真っ先に思い浮かぶのは「愛」。学校が、大好きな子どもたちを育てていきます。そして、今年度こそ地域行事の復活を期待し、子どもたちが地域で過ごす姿も見られたらと思っています。「目（**eye**）」もキーワードです。6年間の発達段階を見ていくと、子どもたちも上の学年に上がることによって自分の力を高めていっています。1年間をみても同様です。最初は担任と一緒に行っていきますが、少しずつ手を離していくと、自分たちの力でいろいろな企画や運営ができるようになっていきます。その機会を大事にし、自分の力でできたことによる達成感や自己肯定感を高めていきたいと思っています。ただ、「目（**eye**）」は離さずに、その様子はしっかりと見守っていきます。

「認め**あい**」「話し**あい**」「助け**あい**」「学び**あい**」・・・その時、その場所で「あい」を大事にし、城郷小学校が、さらによりよい学校となるよう教職員一同精進していきたいと思っています。

<着任の挨拶> 副校長 井上 智恵子

初めまして。4月に着任いたしました、井上智恵子です。城郷小学校は、創立120年という歴史のある学校だと知り、とても驚きました。そして歴史ある学校に関わることができることができ、大変嬉しいです。子どもたちとたくさん話をし、まちを歩いて地域の人と関わりながら、学区や学校の様子を知っていききたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。